



ぼんじゅブレスレット

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- パラコードの編み込みの面白さや規則的な美しさに気づく
- 編み込み方を友達と教え合いながら活動し、それぞれできあがった作品の良さを認め合う。

2 活動の概要

「スネークノット」「コブラノット」のどちらかの方法でパラコードを編み込み、オリジナルのブレスレットを作る活動です。



スネークノット



コブラノット

<作品例>

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学5年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1.5時間（説明20分+活動70分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 80円/1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。

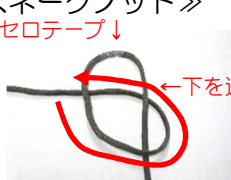
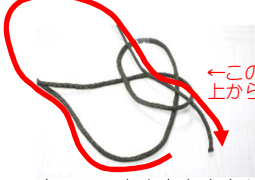



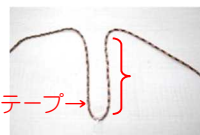


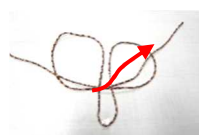





3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材料：パラコード（各色） 道具：作業版、セロテープ、ライター、はさみ、スプーン、1mのものさし

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方「スネークノット」「コブラノット」について説明（動画視聴） 用具の準備と安全について説明
活 動	<p>① パラコードを切る。（スネークノットは 2.3m、コブラノットは 2.5mの長さ） ※ 2色で作る場合は、各色半分の長さで 2 本切る。</p> <p>② 切った端をライターであぶって溶かし、スプーンで固めてほつれないようにする。 2色で作る場合は、先端を溶かし、冷え固まる前に押し当てて結合させます。 ※くっつきやすくするため、中の芯は 2cm 程度切るとよい。</p> <p>③ 「スネークノット」「コブラノット」どちらかの方法で編み込む ・中心部分を 1 カ所、作業版にセロハンテープで固定すると作業しやすい。 （スネークノットは上部 1 か所、コブラノットは下部 1 か所）</p> <p>《スネークノット》 セロテープ↓</p>  <p>① 左のコードで「6」を描く</p>  <p>② 右のコードを左上方向から矢印の穴に上から通す。</p>  <p>③ 左右のコードを締め付ける。</p>  <p>④ ③を繰り返す</p>  <p>⑤ 2本まとめて止め結び ←セロテープ部分 セロテープ止めの部分に 2本のコードを通す。</p>  <p>完成。</p> <p>手首に合わせ 20~25 回程度繰り返す。</p> <p>《コブラノット》</p>  <p>① セロテープ → 真ん中部分の長さを手首 1 周分より少し短くする。</p>  <p>② 右側コードで中 2 本の上、左の下を通す。</p>  <p>③ 左のコードで中央の 2 本の下をくぐる。</p>  <p>④ 右の穴を下からくぐらせる。</p>  <p>⑤ 左右のコードを締め付ける。</p>  <p>⑥ ②から④を、今度は左側コードから繰り返す。</p>  <p>⑦ セロテープ部分まで、30 回程度繰り返す</p>  <p>⑧ セロテープの輪にそれぞれ上下からコードを通し、できた輪に端をくぐらせて引く。</p>  <p>⑨ 2本まとめて止め結び ←ここを通す。</p>  <p>⑩ 止め結びをする。</p>  <p>完成。</p> <p>編み込みをスタートした部分のコードを引き、輪を作る。そこにコードの端を通す。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ

6 安全に実施するためのポイント

- パラコードの先端をライターで溶かす際、火傷に注意する。